

Amami spiny rat / Tokudaia osimensis / Amami toge-nezumi / アマミトゲネズミ

森に生息する小型のネズミにはいくつかの珍しい点がある。名前の由来にもなっている背には棘状の毛が生えていて、幅 2mm、長さ 20mm ほどになる。後ろ足は強く、カンガルーのように 50cm ほど飛べるので、ハブ等の毒蛇から逃げることができる。この棘まみれの生物の特に珍しい点は、生物の性別を決める 2 本の染色体のうち、Y 染色体が消失している。絶滅危惧種のため研究が難しいが、学者はアマミトゲネズミが 600 万年から 200 万年前に徳之島で似たトゲネズミから分化したとされる固有種と推定している。